資料6

地域の明るい未来フォーラム in **西村山**

地域の明るい未来に向けた
大江町の取組みについて

令和８年１１月２日(月)

大江町長　松田清隆

町の将来像

ちょうどいい　幸せ感じるまち

「ちょうどいい幸せ感じるまち」とは、一人ひとりがそれぞれの価値観で感じる幸せの度合が、期待どおりで満足できるまちのことをいいます。

西村山地域の最大の課題は……

➡人口減少と少子化対策

今、大江町が取り組むべき課題

◎人口減少対策と少子化対策を一体的に進めていくことが必要
◎子育て世代の家族に移住定住先として大江町を選んでもらえる施策の展開
◎若い世代が移住先を選ぶ際には子育て支援や教育環境が大切
◎他より手厚い子育て支援策の充実

そのための支援として

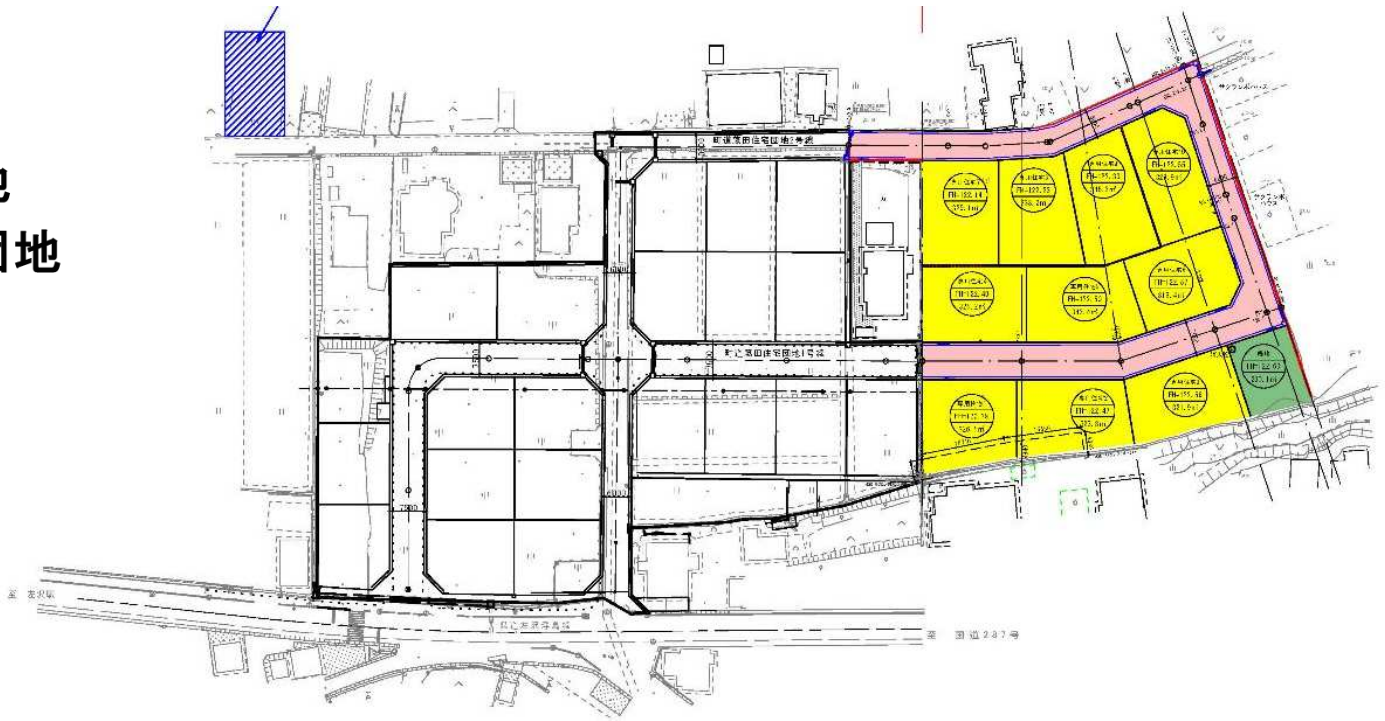
1.住まいの支援　2.子育て支援　3.その他

1．住まいの支援

住宅団地の分譲

藤田地区住宅団地

百目木地区住宅団地



１．住まいの支援

空き家バンク

令和７年度成約実績…17件
利用者登録…42件
物件登録…18件

〈主な取り組み〉

・山形県宅地建物取引業協会と連携
・固定資産税納税通知書にチラシ同封
・情報の充実化
・全国版サーチエンジン登録

空き家利活用支援事業費補助金

空き家バンクで成約した住宅のリフォーム費用の１/３、150万円まで、清掃と家財の処分に１/２、20万円まで、仲介手数料の１/２、16万5千円まで、を上限に利活用を手厚くサポートしています。

１．住まいの支援

移住者・新婚世帯向け　家賃補助

45歳までの移住者と新婚世帯の家賃の１/２、月１万円＋子ども１人あたり５千円を上限に補助。

若者・子育て世代住宅ローン補助金

45歳までの方と子育て世帯の住宅ローンの残高に応じて３年間補助。

住宅建築支援

住宅新築・リフォームなどに補助



2．子育て支援

保育料負担ゼロ円
通園バス負担ゼロ円
幼児給食費全額町負担

保育にかかる費用
負担が実質ゼロに





２．子育て支援





妊娠期の支援

　安心して出産・子育てができるよう、妊娠1回につき５万円、赤ちゃん１人につき５万円を給付。また、保健師、助産師、管理栄養士のマタニティ電話相談や赤ちゃん訪問、育児相談等の妊娠期からの相談体制にも力を入れています。

誕生祝すくすくベビー給付

　生まれた赤ちゃんの健やかな成長を願って赤ちゃん１人あたり商品券５万円分と現金５万円を給付します。また、双子や三つ子を支援する多胎児養育支援事業を実施しています。

出産費用等助成事業

　第２子以降の出産費用のうち、出産育児一時金50万円を超えて自己負担が発生した場合、費用の一部を７万円を上限として助成しています。

2．子育て支援

子育て支援センター「ぱれっと」

大型室内遊具などが自由に利用できるほか、育児相談、季節のイベント、工作教室等を開催しています。

子育て応援訪問事業

町内に住む、保育園・幼稚園等に入園していないお子さんを対象に子育て支援センター職員がご家庭を訪問し、子育てなどの悩みをお聞きします。





２．子育て支援

学校給食無償化

　小中学校の給食を完全無償化



18歳までの医療費無料

　18歳までのお子さんの医療費を無料化しています。受診の際に保険証とあわせて町発行の医療証を提示いただくと本人の窓口負担がなくなります。薬局のお薬代も窓口負担ゼロです。

高校生応援給付金

　町内在住の高校生１人あたり年５万円を３年間給付。

　高校生の輝かしい未来を願い、高校生と高校生を持つ家庭を力強く応援します。

移住支援制服等補助

　移住による保育園、小中学校の転園、転校で必要になる中学校の制服や学校・園指定の体育着用品等の費用を補助します。

3．その他

おおえぐらし商品券

物価高の影響を受けている町民の皆さんの負担軽減のため、町民１人あたり５千円（５００円×10枚）を11月上旬から配布予定です。



3．その他

新規就農者への支援

農業研修受入農家と新規就農者が会員の大江町就農研修生受入協議会「ＯＳＩＮの会」が、農業を始めたい方の現地見学会や短期研修を開催しています。

移住から農業研修、経営開始後の日々の相談までトータルで支援しています。

新規就農者住宅

農業をするために移住する方に向けて、一戸建ての賃貸新規就農者住宅を６棟建築。大江町産の西山杉をふんだんに使用しています。



3．その他

奨学金返還支援
大江町教育ローン
＆返還支援

合計最大200万円の奨学金返還支援に加え、金融機関と連携して独自の教育ローンと返還支援を実施し、若者の夢を応援しています。





結び

道の駅おおえ「コラマガセ」、テルメ柏陵健康温泉館、奥おおえ柳川温泉といった魅力ある施設を核としながら、多くの登山客が訪れる朝日連峰などの観光資源を最大限活用し、交流人口の拡大を図るとともに、定住人口の増加につなげていくことを目指します。





